

令和 5 年 3 月 1 6 日
管 理 課 業 務 担 当

第 3 3 回 芝 浦 食 肉 衛 生 検 査 所 調 査 研 究 発 表 会 を 開 催 し ま し た

3 月 10 日（金曜日）、芝浦食肉衛生検査所では、衛生検査所衛生指導室において「第 33 回 芝浦食肉衛生検査所調査研究発表会」を開催しました。今年度は集合形式及び Web 配信の併用開催といたしました。

当所では食肉の安全の確保を図るため、日々の検査業務から得られる知見を基に、牛や豚の病気や食肉検査に関する様々な調査研究を行っており、毎年度末にその成果を発表しています。今年度は、「小腸炎及び大腸炎の診断並びに廃棄基準の平準化に向けた研修資料の作成」、「牛肝臓及び胆汁の *Campylobacter* 属菌等の保有状況調査」、「豚熱発生時対応封鎖マップの作成」、「東洋医学の考えに基づく牛伝染性リンパ腫の病態の分類（第三報）」の 4 題の口頭発表と症例検討や検査手法の検証、食中毒起因菌の保有状況調査等 5 題の誌上発表を行いました。助言者である健康安全研究センターの研究部門職員から御講評いただきました。「今回の調査データを活用し、消費者への食中毒予防の普及啓発を行ってほしい。」、「豚熱発生時、迅速に初動対応できるよう改良を行い、大変有意義である。」等の講評がありました。

今後も、調査研究を通じて、と畜検査技術の向上と的確な検査を実施するとともに、調査研究の成果を事業者や消費者に発信し、食肉市場における食肉の安全確保に寄与したいと考えています。